

市長の活動報告（令和7年12月）

12月6日（土曜日） 「命のみなとネットワーク」海上輸送訓練

椿泊漁港及び大湊地区岸壁において実施された「命のみなとネットワーク」海上輸送訓練に出席しました。

昨年の能登半島地震では、道路寸断により被災地への到達に時間を要し、復旧が大幅に遅れる事態となりました。本市を含む徳島県南部地域は能登半島と類似した地形で、主要幹線である国道55号が寸断された場合、地域が孤立し人命や財産が失われる危険性が極めて高い状況にあります。そのため、陸上輸送のみに頼らない南部地域へのアクセス手段の確保・整備は、迅速な復旧・復興のために不可欠です。

今回の訓練では、港湾業務艇などの船舶を活用し、傷病者の搬送や支援物資輸送の可能性を実地で確認しました。徳島県下一の海岸線を有する本市にとっては、海上からの多角的な支援ルートを構築することは、防災・減災において大変心強い取り組みとなります。

今後も港湾関係機関や沿岸部の自主防災組織等との連携を一層深め、大規模災害に即応できる体制の整備を強力に推進してまいります。



12月13日（土曜日） 2025 Winter あなんにきてな『あなんDE光の冬のまつり』

牛岐城趾公園にて、「光のまち阿南」を県内外に広く発信するイベント「あなんDE光の冬のまつり」が開催されました。

冬の阿南を象徴するこの催しには、約800人もの方々にご来場いただきました。会場では、神崎幼稚園の園児の皆さんの元気なカウントダウンに合わせ、約30万球のLEDで彩られた11本のツリーが一斉に点灯しました。幻想的な光の演出が、多くの来場者を魅了し、冬の夜を明るく照らしました。

ステージでは、阿南高専吹奏楽部の演奏や富岡ダンススタジオのパフォーマンス、そしてスペシャルゲスト「花*花」の素晴らしい歌声が披露され、会場の熱気は最高潮に達しました。また、多くのキッチンカーや屋台も出店し、「見て」「食べて」楽しむことができる、活気あふれる賑わいの場となりました。

今後もこのようなイベントを通じ、本市の魅力を積極的に発信し、地域の活性化と郷土愛の醸成に取り組んでまいります。



12月18日（木曜日） 阿南市こども計画ワークショップ

徳島県立富岡西高等学校において「阿南市こども計画ワークショップ」を開催し、2年生15名の皆さんと意見交換を行いました。

現在、本市では「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生を基本理念とした「阿南市こども計画」の策定に取り組んでいます。計画の主役である若者の声を反映させるため、大人の視点だけにとらわれない率直な意見を聞く場として設けたものです。

ワークショップでは、5つの班に分かれてテーマごとに意見発表が行われました。生徒からは「大人に必要なくても、こどもに必要なことはたくさんある」といった声のほか、多世代が交流できる公園の整備、共働き世帯への支援として遅い時間まで対応可能な預かり施設の設置、また学童保育制度の周知の重要性など、具体的で鋭い視点による提案を数多くいただきました。

こうした次世代を担う方々の声は、阿南市の未来を創るための極めて重要な指針となります。今後も若者が意見を表明できる場を充実させ、誰もが「このまちで育って良かった」と心から誇れるまちづくりに努めてまいります。



12月20日（土曜日） 第72回徳島駅伝阿南市選手団結団式

来年1月に開催される第72回徳島駅伝に向け、阿南市選手団の結団式を執り行いました。

今大会は、美波町役場を出発し本市を經由して徳島市役所を目指す「南方コース」と、三好市の池田駅前を出発する「吉野川南岸コース」の2コースで実施されます。

この度、新たに阿南市選手団の監督に就任された稲岡監督からは、「全員駅伝」のスローガンのもと、各世代で力を付けている充実したチーム編成で優勝を目指すという力強い決意表明がありました。

一分・一秒でも早く次の走者へタスキをつなごうと懸命に走る姿は、市民の皆様には大きな感動と希望を届けるものと考えており、今大会においても、阿南市の代表として素晴らしい健脚が披露されることを期待しています

私自身も団長として、時間の許す限り選手のもとを訪ね、精一杯応援してまいります。

